

話我旅  
好雀

卷之上編四

乙卯春新鐫  
種清綴合  
國貞圖画

紅

梓堂英

13  
3806  
4





柳下亭校

國貞画

童青發

四編上

寫吉版

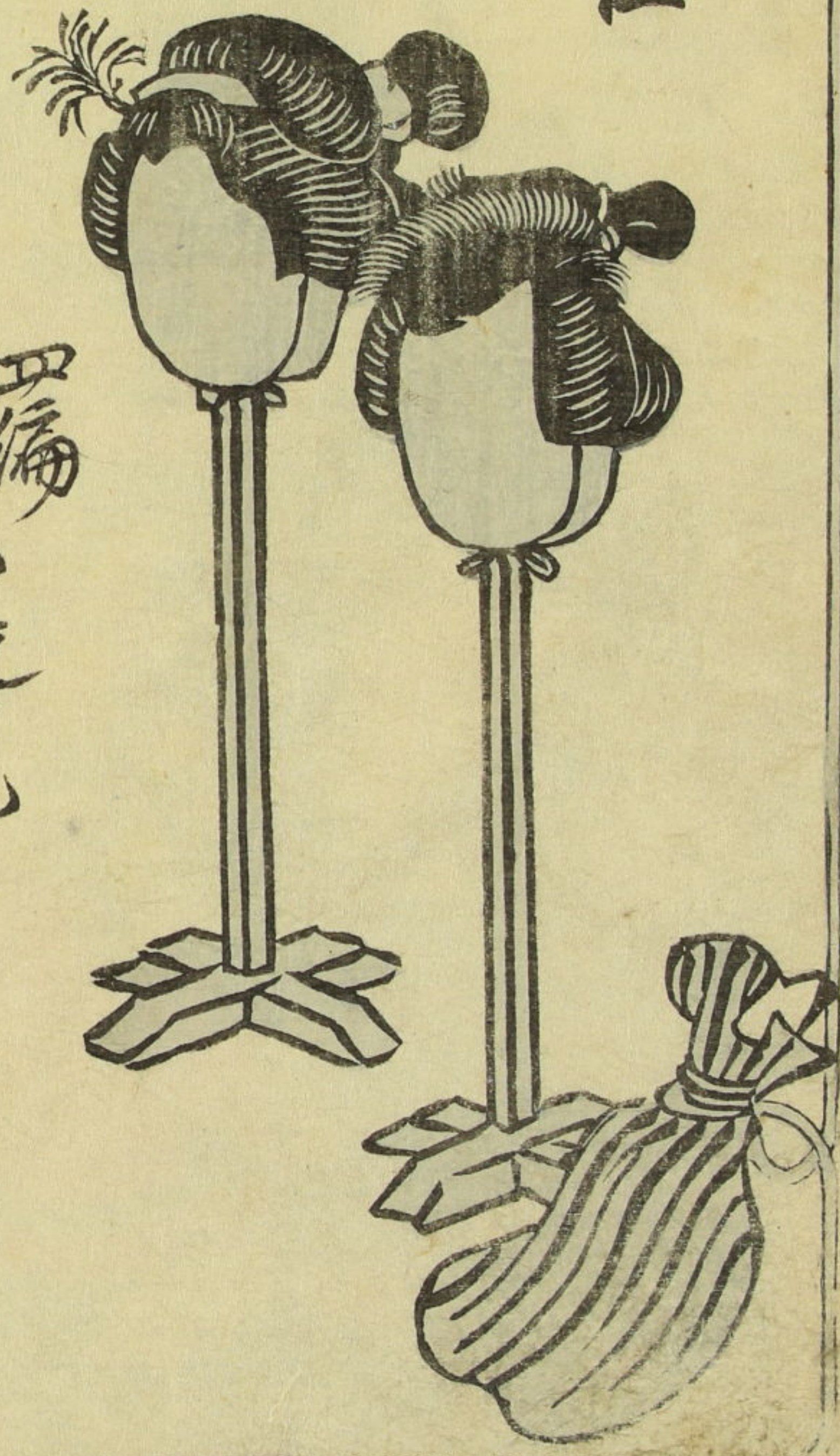
旅雀我好話

13  
3806  
4

系 旅 雀

話 好

種 清 猷  
國 貞 五



四編  
石純毫

紅英堂萬士口板

庚七 一

阿房多羅經の偈云摩訶陀々々阿房摩訶陀彌次摩  
訶難陀喜多摩訶難陀摩訶難陀迦羅摩訶沙牢陀  
あ難有の小道能化地藏比顔も三度笠脱てあむ茂林  
寺乃埋娘が腹鼓をこに拍子とあを存んと鳴と木魚と檀  
ゆく坐禪まゐれ未熟烹が最醒さき喜多解疑さう  
吉田の樓々落々此邊が話の榮五編と待々  
笑りせ給くと理りく謂と有余

嘉永八乙卯歲新鐫  
柳水亭種清戲述

後三日



辰尾四

○兵輔  
 市之妻  
 浅路

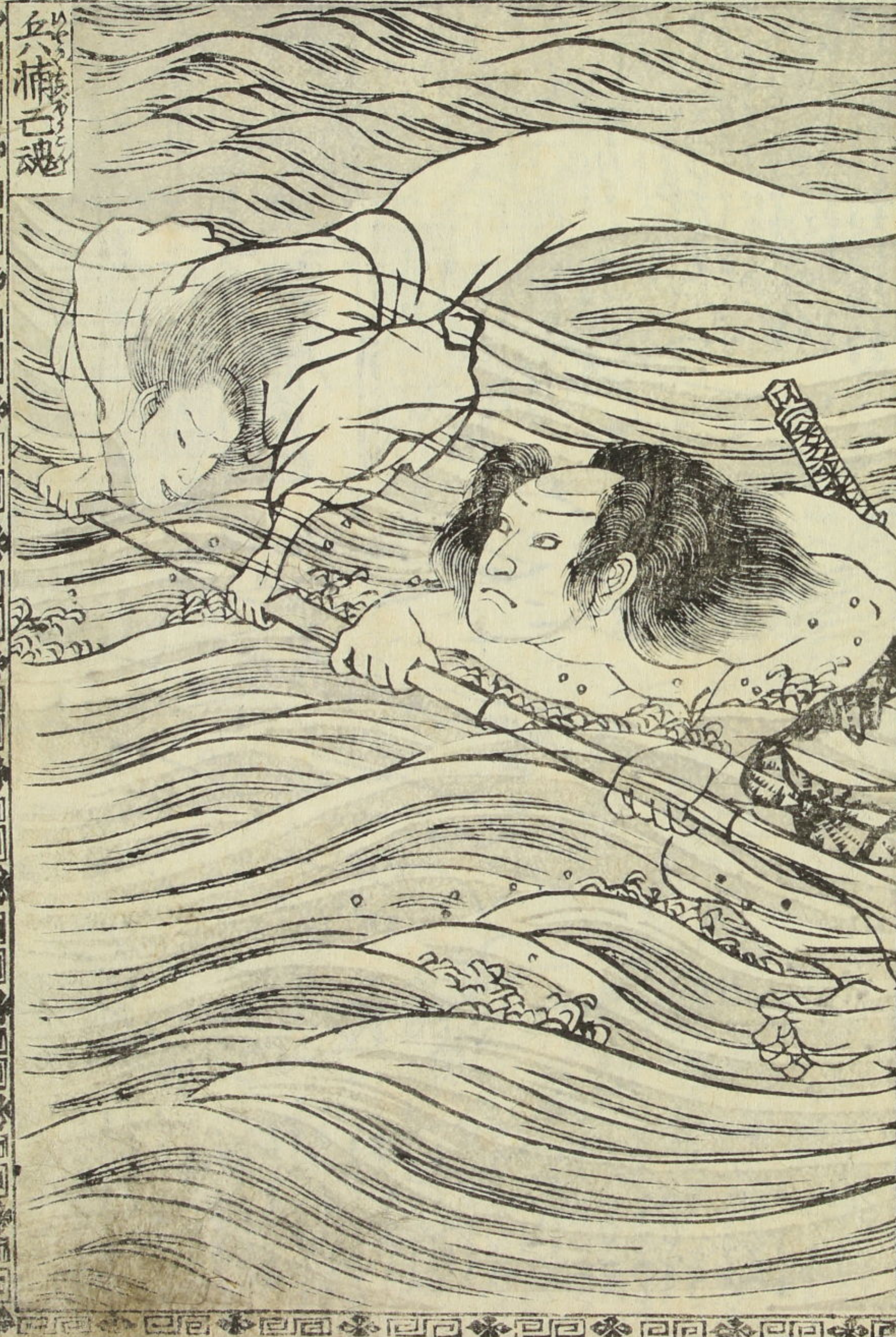


辰尾四

○藤五郎  
 妹  
 於露

兵補亡魂

長生白



中野藤兵衛

石井鬼臣

関内総魂







あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを

あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを

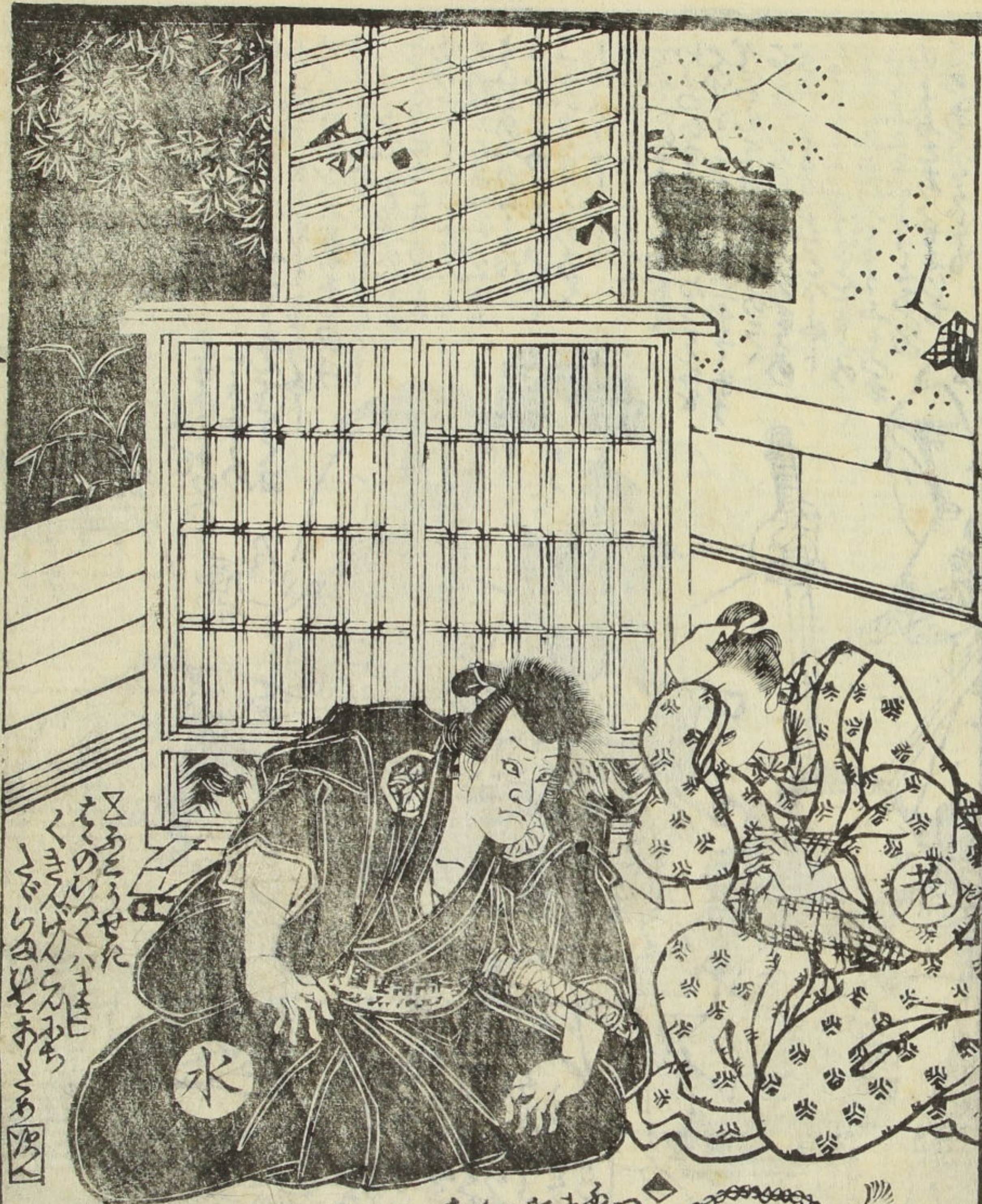
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを

あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを



あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを  
あつたてのまてを

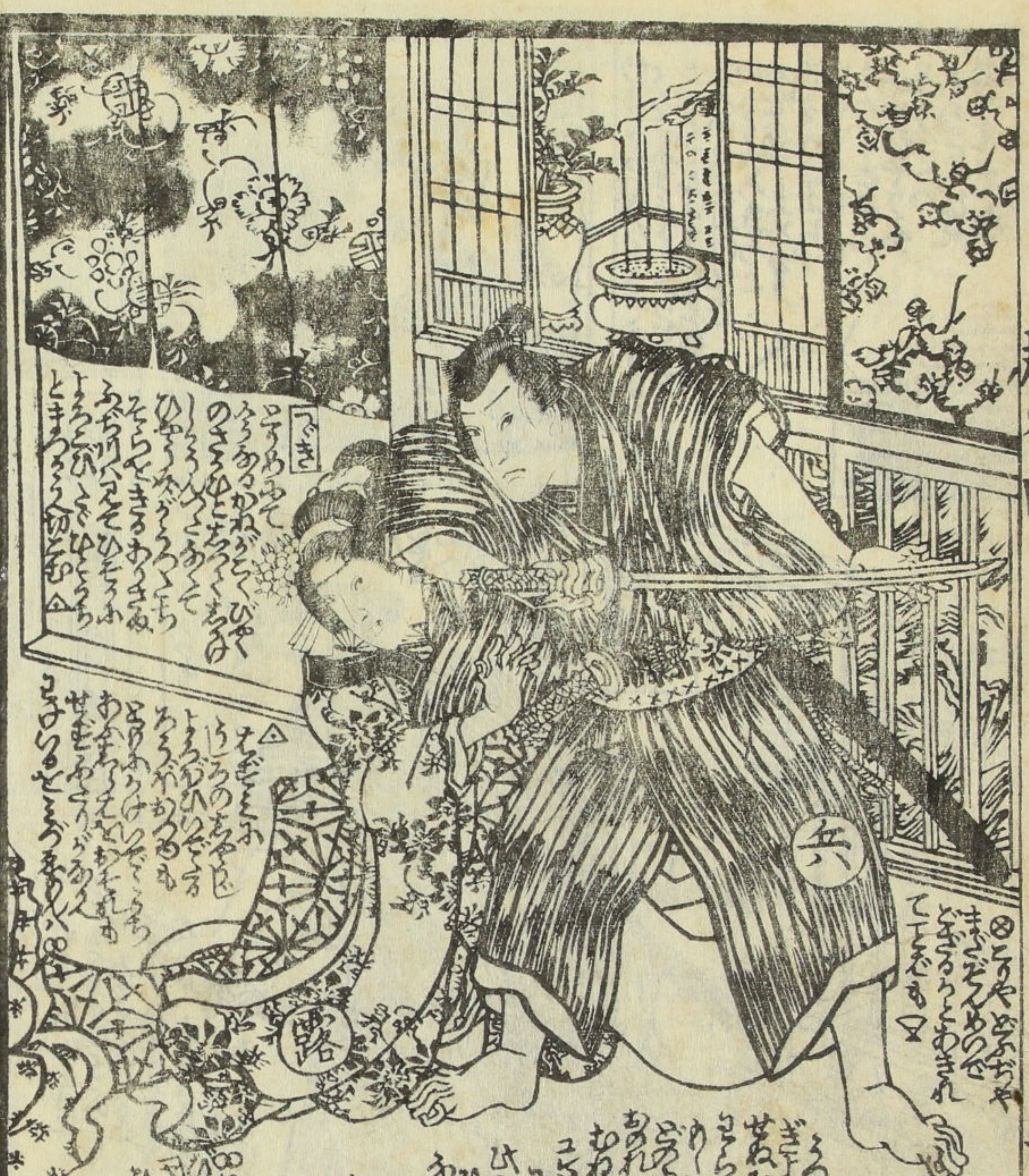
あつたてのまてを



△あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら

△

百廿八の  
つらぬのえ不  
あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら  
△あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら  
△あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら



△あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら

△あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら

△あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら

△あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら  
△あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら  
△あつちをた  
くまのくハまは  
とらぬをあら









いとこをさうとせ  
 かくくもさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 あらうさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ



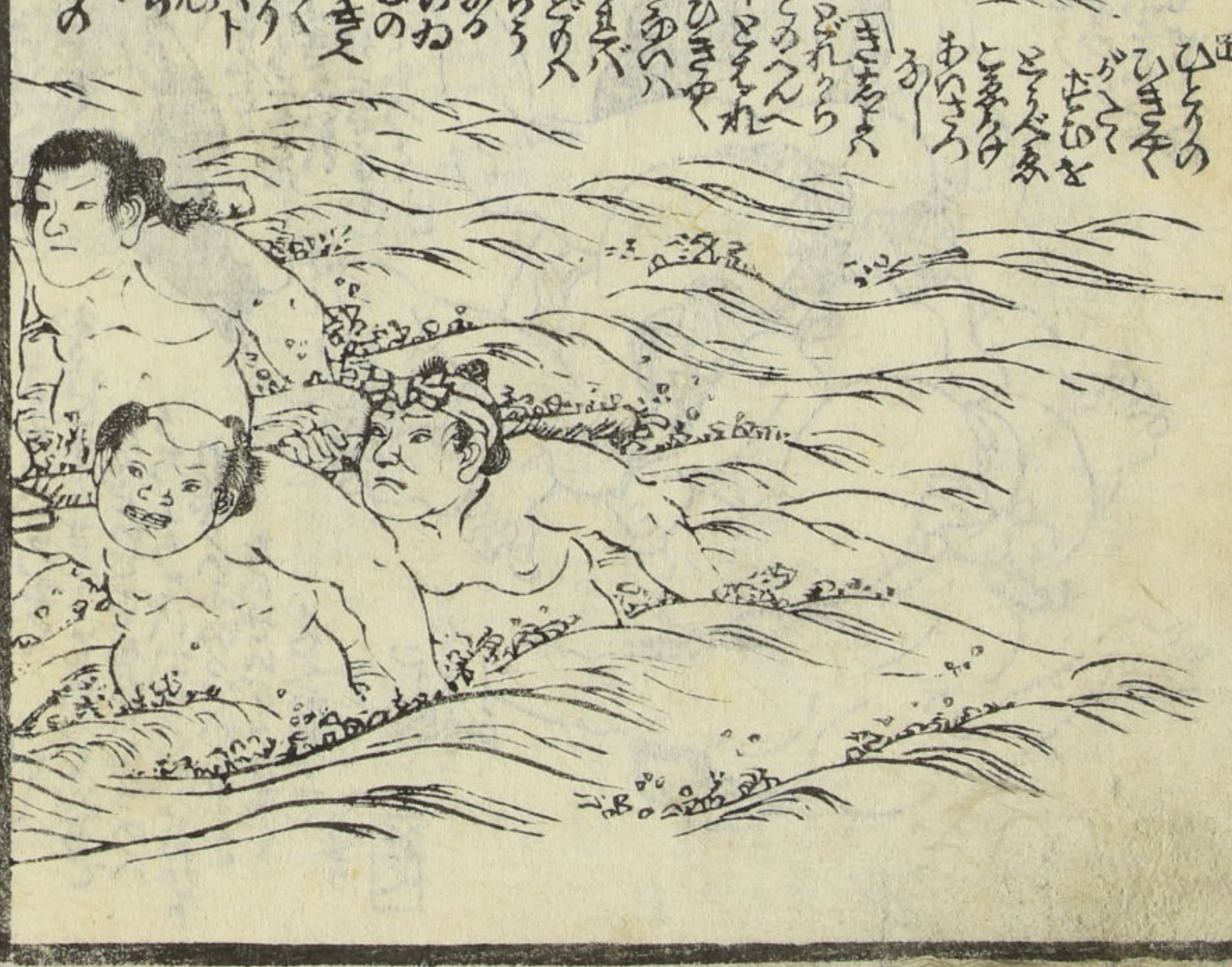
さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ  
 さうとせさうとせ

さうとせ  
 さうとせ  
 さうとせ  
 さうとせ  
 さうとせ  
 さうとせ  
 さうとせ  
 さうとせ  
 さうとせ  
 さうとせ

つまはるわらふさの  
 後のあけぬまたこの  
 ちかまのあけぬまた  
 りぬまのあけぬまた  
 りぬまのあけぬまた  
 りぬまのあけぬまた  
 りぬまのあけぬまた  
 りぬまのあけぬまた  
 りぬまのあけぬまた  
 りぬまのあけぬまた  
 りぬまのあけぬまた



ひらの  
 ひらの  
 ひらの  
 ひらの  
 ひらの  
 ひらの  
 ひらの  
 ひらの  
 ひらの  
 ひらの  
 ひらの





# 柳水亭種清綴

かぐあひうまひあはれそいせうあひ  
おのれまうそとあはれそいせうあひ  
とまうそとあはれあひ  
あひのそいせうあひのちあはれそい  
あひのそいせうあひのちあはれそい  
こゝろもせうあひまうあひ  
あひのそいせうあひまうあひ  
あひのそいせうあひまうあひ  
あひのそいせうあひまうあひ  
きくへまうあひまうあひ

。いせうあひあひあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ

作者



# 梅蝶樓國貞画

あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ

あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ  
あひのそいせうあひあひ

# 本實母散

れ方実母さん  
向あひのそいせうあひあひ

中橋

南傳馬町二丁目東側 千葉堂孝輔製

御免 疝積湯

# せんきののゆ糸

御用藥所 信州上田東山堂製

せんきののゆ糸  
せんきののゆ糸  
せんきののゆ糸  
せんきののゆ糸  
せんきののゆ糸  
せんきののゆ糸  
せんきののゆ糸  
せんきののゆ糸  
せんきののゆ糸  
せんきののゆ糸

# 大日本國郡輿地全圖

大奉書 六枚巻

# 府郷御江戸繪圖

同断 六枚巻

はれらるゝ  
せんきのの茶

取次所

地本草紙問屋

葛屋吉藏

江戸南傳馬町二丁目













大正









辰 雀 四

十 七

加









あやかしな  
 おもひがら  
 ちまひ  
 うつら  
 こころ  
 ちまひ  
 うつら  
 こころ  
 あやかしな  
 おもひがら

あやかしな  
 おもひがら  
 ちまひ  
 うつら  
 こころ  
 ちまひ  
 うつら  
 こころ



あやかしな  
 おもひがら  
 ちまひ  
 うつら  
 こころ  
 ちまひ  
 うつら  
 こころ

あやかしな  
 おもひがら  
 ちまひ  
 うつら  
 こころ  
 ちまひ  
 うつら  
 こころ

嘉永八乙卯春新鐫目錄

種清綴

此書は... (Vertical text describing the book's content and origin, mentioning various authors and editions.)

あまのり... (Vertical text annotations or commentary related to the illustration.)



國貞画

大晦日曙草紙

七編 京山作  
三編 芳細画

八犬傳大の紙

七編 仙果録  
六編 豊國画  
八編 國貞画

御贄美少年始

七編 同 録  
七編 國細画

俠客傳小摸略説

七編 西馬譯  
三編 同 画

嶋巡浪間朝景

七編 種員譯  
八編 同 画

古今草紙合

七編 仙果作  
七編 國輝画

童謡妙々車

初編 種員作  
二編 國貞画  
三編 國貞画

松浦船水棹婦言

四編 仙果録  
五編 國芳画

八重撫子累物語

三編 同 録  
四編 國貞画

花菱菜梅雅物語

四編 西馬譯  
五編 國輝画

旅雀我好話

初編 種清綴  
二編 國貞画  
三編 國貞画

問屋葛屋吉藏板



東都南海島... (Small text annotations related to the publisher or location.)

